

(別紙 1)

令和 8 年度
枚方市教育振興基本計画に係る
主要事業の概要

令和 8 年 4 月
枚方市教育委員会

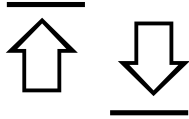
基本方策	主要事業名	担当部署名	ページ	備考
基本方策1	①小中一貫教育推進事業	教職員課 教育指導課	6	
	②学校園活性化事業	教育指導課 公立保育幼稚園課	7	
	③枚方市少人数学級充実事業	教職員課 教育指導課 児童生徒課 支援教育課	8	
	④学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業)	教育研修課	9	
	⑤多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業)	支援教育課	10	
	⑥英語教育推進事業	教職員課 教育指導課	11	
	⑦読書活動推進事業	教育指導課	12	
	⑧進路指導等事務	支援教育課	13	
	⑨学力向上推進事業 (放課後自習教室事業)	教育指導課	14	
	⑩学校支援社会人等指導者活用事業	教育指導課 公立保育幼稚園課	15	
	⑪PBL（課題解決型学習）推進事業	教育指導課 教育研修課	16	新規
基本方策2	①人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業)	支援教育課	18	
	②多文化共生教育研究事業【再掲】	支援教育課	18	
	③帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	支援教育課	19	
	④小中一貫教育推進事業【再掲】	教職員課 教育指導課	19	
	⑤学校水泳授業民間活用事業	教育政策課 新しい学校推進課 教育指導課	20	
	⑥部活動指導協力者派遣事業	教育指導課	21	
	⑦小学校給食充実事業	おいしい給食課	22	
	⑧学校給食における地元農産物利用促進事業	おいしい給食課	23	
	⑨食物アレルギー対応推進事業	おいしい給食課	24	
	⑩学校健康管理事業	学校支援課	25	
	⑪健康診断事業	学校支援課	26	
	⑫中学校給食充実事業	おいしい給食課	27	
	⑬文化財活用事業	文化財課	28	
	⑭野外活動センター利用促進事業	スポーツ振興課	29	
	⑮中学校給食における全員給食実施事業	おいしい給食課	30	
	⑯中学校部活動地域連携事業	教育指導課	31	

基本方策	主要事業名	担当部署名	ページ	備考
基本方策3	①枚方市教職員育成事業	教育研修課	33	
	②授業の達人養成・教科研究事業	教育研修課	34	
	③学校園活性化事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	34	
基本方策4	①支援教育推進事業	支援教育課	36	
	②通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	支援教育課	37	
	③枚方市教職員育成事業【再掲】	教育研修課	37	
	④就学前支援教育推進事業	公立保育幼稚園課	38	
基本方策5	①幼児教育充実事業	公立保育幼稚園課	40	
	②学校園活性化事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	40	
	③学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	41	
	④幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)	公立保育幼稚園課	41	
基本方策6	①コミュニティ・スクール推進事業	教育指導課	43	
	②教育委員会広報事務	教育政策課 教育研修課	44	
基本方策7	①小学校安全監視事業	新しい学校推進課	46	
	②通学路安全対策事業	新しい学校推進課	47	
	③小中学校安全対策事業	支援教育課	48	
	④生徒指導充実事業 (枚方市生徒指導体制充実事業)	教職員課 児童生徒課	49	
	⑤いじめ問題対策事業	児童生徒課	50	
	⑥スクールアドバイザー派遣事業	児童生徒課	51	
	⑦教育相談事業	児童生徒課	52	
	⑧「心の教室相談員」配置事業	児童生徒課	53	
	⑨福祉・教育ソーシャルワーク事業	まるっとこどもセンター	54	
	⑩不登校児童・生徒支援事業	児童生徒課	55	
基本方策8	①学校整備・保全事業	施設計画課 施設整備課 施設管理課	57	
	②学校空調設備整備・維持管理事業	施設計画課 施設整備課	58	
	③学校規模等適正化事業	新しい学校推進課 施設整備課	59	
	④学校ICT機器等整備業務【再掲】	教育研修課	59	
	⑤校務の情報化推進事業	教育研修課	60	
	⑥小学校給食充実事業【再掲】	おいしい給食課	60	

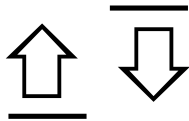
基本方策	主要事業名	担当部署名	ページ	備考
基本方策9	①社会教育活動推進事業	教育政策課	62	
	②生涯学習事業	文化生涯学習課	63	
	③図書館資料購入事務	中央図書館	64	
	④図書館等巡回事業	中央図書館	65	
	⑤中央図書館管理運営事業	中央図書館	66	
	⑥図書館分館管理運営事業	中央図書館	67	
	⑦図書館オンラインシステム運営事業	中央図書館	68	
	⑧障害者利用促進事業	中央図書館	69	
	⑨電子図書館運営事業	中央図書館	70	
	⑩学校図書館支援事業	中央図書館	71	
	⑪読書活動推進事業【再掲】	教育指導課	71	
基本方策10	①文化財活用事業【再掲】	文化財課	72	
	②野外活動センター利用促進事業【再掲】	スポーツ振興課	72	
	③文化芸術事業	文化生涯学習課	73	名称変更
	④文化財保護管理事業	文化財課	74	
	⑤市指定文化財補助事業	文化財課	75	
	⑥市史編さん年報発行事務	文化財課	76	
	⑦各種スポーツ大会等開催事業	スポーツ振興課	77	
	⑧スポーツ推進事業	スポーツ振興課	78	
	⑨総合型放課後事業	放課後子ども課	79	
	⑩枚方子どもいきいき広場補助事業	放課後子ども課	80	

※表中の凡例

●「指標」の「（めざすべき方向）」の表記について



…実績値が、目標値へ到達することをめざしています。



…実績値が、目標値を上（下）回ることをめざしています。

●「令和8年度の取り組み実績」の表記について

- ・文頭に◆：事業の取り組み実績
- ・文頭に◇：事業の課題事項

基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。変化の激しい社会に柔軟に適応していくためにも、物事を多角的に捉え、多様な他者と協働しながら社会課題や生活課題に「新たな解」を生み出せる素養の育成が重要となります。

学校教育においては、一人ひとりの教育的ニーズを大切にし、教職員及び児童・生徒が、1人1台端末を校務及び学習に日常的に活用した個別最適で協働的な学びを進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を繰り返しながら、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。^{③④⑨}

また、9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続、幼保こ小等の円滑な接続を踏まえ、シームレスな学びの推進に向け、教職員の指導力や学校力の向上を図ります。^{①②}

さらに、仮想空間やデジタル技術、ネットワークの活用が一般化された超スマート社会（Society 5.0）に対応するため、プログラミング教育の推進や情報活用能力のさらなる育成の視点も踏まえながら、ICT活用による新しい学校教育の確立に向けた「枚方版ICT教育モデル」や国のGIGAスクール構想に基づき、1人1台端末等のICTを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びの一層の推進に取り組みます。^④

また、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、「正解（知識）の暗記」、「正解主義」への偏りから脱却し、目の前の課題に向き合い自ら考え対処する課題解決型学習（PBL）^⑪などの子ども主体の学習活動を推進していきます。

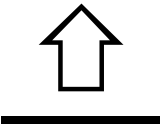
市内大学と連携したイベントや海外の小学校とのオンライン交流など、より実践的な体験活動を通じて、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成^⑥するとともに、諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進します。^{⑤⑥}また、学校図書館の活用による言語能力や情報活用能力の育成^⑦、職業体験や社会見学、社会人による特別授業、企業等と連携して課題解決を考える取り組みなどにより、社会と関わる機会を多く作り、未来を切り開く資質・能力の育成を図っていきます。^{⑧⑩}

さらに、感染症等の危機事象による学校の臨時休業などにも対応できるよう、オンライン授業等のICTを有効に活用した学習活動の充実を図る^④など、子どもたちの「ウェルビーイング」の向上に資する新しい教育に向けた取り組みを進めます。

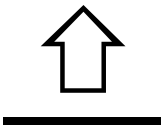
主要事業の状況

1-①	小中一貫教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	54,805
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
各中学校区において、小学校から中学校への円滑な接続や、シームレスな学びの推進等に向けて、校区の現状と課題を把握し、小・中学校が連携して以下の取組みを実施している。 ○学力向上の取組み 全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。 教科会等における授業研究の推進を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、家庭における学習習慣の充実に努める。 ○体力向上の取組み 各小・中学校で、これまで行ってきた体力テストの結果を基に、現状の児童・生徒に合わせた体力向上推進計画を作成・実践する。大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取組みを推進する。						
指標		R6年度		R7年度		R8年度
（実績値の内容） 小学校6年時の学校教育自己診断における質問「授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対する肯定的な回答の割合と中学3年時の同質問に対する肯定的な回答		実績値 [A] (%)		小：83.88 中：90.95		小：84.13 中：90.93
（目標値の根拠） 小学6年生：85%以上 中学3年生：90%以上 （参考値） R6・7平均 小学6年生：84% R6・7平均 中学3年生：91%		目標値 [B] (%)		小：85 中：90		小：85 中：90
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)		小：98.68 中：101.06		小：98.98 中：101.03
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	－				
	実行計画	第3期実行計画16_01_小中一貫教育の推進			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	－				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-②	学校園活性化事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 19,839 決算額
事業概要（令和8年度の取り組み内容）					
全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校（園）内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。					
指標		R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 小学校5年生時～中学校3年生時の学校教育自己診断における質問「授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対する肯定的な回答の割合	実績値 [A] (%)	小学5年生：81.91 小学6年生：83.88 中学1年生：86.56 中学2年生：88.98 中学3年生：90.95	小学5年生：80.17 小学6年生：84.13 中学1年生：83.74 中学2年生：87.67 中学3年生：90.93		
（目標値の根拠） 小学5年生～中学3年生 全学年85%以上（参考値） R6・7平均 小学5年生：81% R6・7平均 小学6年生：84% R6・7平均 中学1年生：85% R6・7平均 中学2年生：88% R6・7平均 中学3年生：91%	目標値 [B] (%)	全学年 85	全学年 85	全学年 85	
（めざすべき方向） 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※◇なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ （小数第三位を四捨五入）	小学5年生：96.36 小学6年生：98.68 中学1年生：101.84 中学2年生：104.68 中学3年生：107.00	小学5年生：94.32 小学6年生：98.98 中学1年生：98.52 中学2年生：103.14 中学3年生：106.98		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
・指標数値が減少傾向にある。タブレット端末を使用したコミュニケーションは活発になっているとのことなので、状況が正確に伝わるよう指標の見直しや参考指標の設定を検討いただきたい。（R6点検評価員会議）					
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		達成度	
	市長公約	-			
	実行計画	-			
	関連計画	-		R7からR8の達成度の推移	

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	教職員課・教育指導課・ 児童生徒課・支援教育課	事業費（千円） ※人件費のみ	予算額	372,827
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
公立小学校では、1学級35人以下の少人数学級編制を、国が段階的に拡充し、令和7年度からは全学年で実施となっている。本市では、小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高めるため、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を全学年で実施する。 学級数が増える学校に対して市費負担期付教員を採用し配置する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 学校教育自己診断の共通項目①「学校生活の中で、楽しいとすることがある。」②「あなたの学級は、1人1人を尊重し、安心できる場所である。」の肯定的回答率		実績値 [A] (%)	①93.4% ②79.3%	①89.6% ②86.0%		
（目標値の根拠） ①「学校生活の中で、楽しいとすることがある。」の肯定的回答率93% ②「あなたの学級は、1人1人を尊重し、安心できる場所である。」の肯定的回答率88%		目標値 [B] (%)	①93% ②88%	①93% ②88%		
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△なら C=A÷B ※▽なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	①100.43% ②90.11%	①96.34% ②97.73%		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・その効果を適切に示すことができる指標を今後も引き続き検討いただきたい。（R5点検評価員会議） ・今後は、適切な指標により事業の効果を測るとともに、指標の分析においては、否定的な回答にも着目しながら、その要因分析を踏まえ、肯定的回答率の上昇に向けた方策を講じられたい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画16_02_子どもの確かな学力の定着を図る			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-④	学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業)	担当課	教育研修課	事業費(千円) ※人件費含む	予算額 決算額	549,452
事業概要(令和8年度の取り組み内容)						
・全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の管理・整理を行う。 ・授業支援ソフトウェア、MDMなどを整備する。 ・1人1台端末やデータ活用により、個別最適で質の高い学びを推進するとともに、対面での関わりや体験的な学びなどの価値も生かし、ICTで補完・高度化することで、アナログとデジタルのベストミックスを図り、教育DXの推進を行う。 ・1人1台端末を効果的に活用した授業実践や好事例を市内小中学校に広く情報発信、教職員研修を通じて教職員の授業改善を図る。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) 教員のICT活用指導力チェックリスト「グループで話し合って考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。」に対して肯定的な回答をした割合 ※【】内は全国平均		実績値 [A] (%)	82.15 【78.2】	81.77 【未公表】		
(目標値の根拠) 肯定的回答の割合100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
(めざすべき方向)		達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※◇なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	82.15	81.77		
令和8年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・今後とも、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成するため、学校ICT機器等の活用の充実に取り組んでいただきたい。(R4点検評価員会議) ・先進的な取り組みを実現している1人1台端末について、契約更新においては、環境充実に向けて計画的に行っていることは評価できる。今後は、ICT活用の影響についての様々な研究結果にも目を向けながら、デジタルとアナログを効果的に使い分ける取り組みをさらに進めていただきたい。(R7点検評価員会議)						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_02_子どもの確かな学力の定着を図る			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	枚方版ICT教育モデル 教育の情報化に関する手引-追補版-文科省				

1-⑤	多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業)	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	211
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数		実績値 [A] (人)	173	230		
(目標値の根拠) 参加教職員数：220人		目標値 [B] (人)	220	220	220	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※ [◇] なら C=A÷B ※ [◇] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	78.64	104.55		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・外国にルーツのある子どもへの支援をはじめ、すべての子どもたちが異文化を理解し、多文化を許容することが重要である。 (R5点検評価員会議)						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画11_03多文化共生社会の形成の支援			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

1-⑥	英語教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	239,337
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に日本人英語教育指導助手（JTE）または英語専科教員を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校で指導する外国人英語教育指導助手（NET-E）を配置し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。 ・英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2・第3学年の全生徒を対象に4技能の到達度を測ることができる学習アプリを活用し、生徒の英語力向上を図る。 ・関西外国語大学と連携し、留学生との交流等、英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むためMuChat Hirakataを実施する。 ・ICT機器を活用して、本市小学校、または中学校と海外の学校とオンラインでの交流を実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童（小学校第3学年～第6学年）及び生徒（中学校第1学年～第3学年）の割合		実績値 [A] (%)	小：86.98 中：81.90	小：83.58 中：79.83		
（目標値の根拠） 児童（小）の満足度90%以上 生徒（中）の満足度85%以上		目標値 [B] (%)	小：90.00 中：85.00	小：90.00 中：85.00	小：90.00 中：85.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ ^① ならC=A÷B ※ ^② ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	小：96.64 中：96.35	小：92.87 中：93.92		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・学年があがるごとに、授業が楽しいと答えた児童数が減少している実態を詳しく分析していただき、特に小学校で英語を苦手とする児童をつくらないう、今後も取組みを進めていただきたい。（R5点検評価員会議） ・達成度は高水準で推移しているものの、経年比較すると小学校では微減している。学年が上がっても英語を楽しく学べる授業づくりをこれからも進めていただきたい。（R6点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度 所信表明、令和6年度 市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_02子どもの確かな学力の定着を図る			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

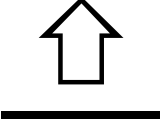
1-⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	124,361
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・児童・生徒の言語能力や情報活用能力を育むため、学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。学校司書の配置に関しては令和7年度から中学校を中心とした配置から小学校を中心とした配置に移行している。 ・市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等、授業における学校図書館の活用を推進する。 ・小学校を中心とした学校図書館を活用した教育活動の支援等に向けて、専任配置校の拡大をめざし、学校司書確保の取り組みを進めていく。 ・児童・生徒が主体的に主権者として必要な資質・能力を身に付けることの重要性に鑑み、小・中学校に複数紙の新聞配備を進める。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童生徒の割合 ①全国学力・学習状況調査の質問紙調査より把握 ②市教委独自アンケートより把握		実績値 [A] (%)	①質問肢なし ②小：56.6 中：46.1	①小：50.2 中：39.5 ②小：52.5 中：45.8 (R72学期末)		
（目標値の根拠） 学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童生徒の割合 ①全国学力・学習状況調査の質問紙調査より把握（全国の割合と比較） ②市教委独自アンケートより把握（前年度と比較）		目標値 [B] (%)	①全国平均以上 （質問肢なし） ②前年度より向上 （小：58.3） （中：53.5）	①全国平均以上 （小：53.2） （中：40.4） ②前年度より向上 （小：56.6） （中：46.1）	①全国平均以上 （小：7月末把握） （中：7月末把握） ②前年度より向上 （小：52.5） （中：45.8）	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	① — ②小：97.08 中：86.17	①小：94.36 中：97.77 ②小：92.76 中：99.35		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・令和3年度については、事業指標の結果から、特に小学生の読書習慣に課題が生じているため、対策を講じていただきたい。（R4点検評価員会議） ・様々な取組は行われているものの、指標となる数値は小学校では減少傾向、中学校では横ばいとなっており、目標値との開きも縮小していない。今後も、好事例の発掘と共有を行うなど、読書活動の活性化に向けて取り組んでいただきたい。（R6点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度市政運営方針、令和8年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_02_子どもの確かな学力の定着を図る			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-⑧	進路指導等事務	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	3,213
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・進学意欲を有しながら、経済的な理由により就学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、進路選択支援事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を実施する。 ・教育活動全体を通して学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 各学校の教育計画においてキャリア教育全体計画の作成、または見直し・更新を行った学校の割合		実績値 [A] (%)	100.00	100.00		
（目標値の根拠） 100% キャリア教育全体計画を作成した学校／枚方市立小中学校		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [◇] なら C=A÷B ※ [◇] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-				
	関連計画	-			R7からR8の達成度の推移	

1-⑨	学力向上推進事業 (放課後自習教室事業)	担当課	教育指導課	事業費(千円) ※人件費を除く	予算額 決算額	46,482
事業概要(令和8年度の取り組み内容)						
児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、授業・課外時間外・家庭学習で学習ができる民間の学習コンテンツを利用できるように環境を整備し、学力向上の取り組みを推進する。また、放課後学習教室の開室方法を見直し、中学生対象に民間のノウハウを生かした学習教室を実施し、生徒の学習支援を行う。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) 放課後学習教室の利用率 (参加者数/登録者数×100) (参考指標1) ※(参1)と表記 「来年も参加したい」と回答した生徒の割合 (参考指標2) ※(参2)と表記 実人数(登録者数)		実績値[A] (%)	79 (参1) 48% (参2) 407人	71 (参1) 60.6% (参2) 536人		
(目標値の根拠) 80% (参考指標1) 前年度実績以上 (参考指標2) 1校20人×19校		目標値[B] (%)	80 (参1) 28.5% (参2) 380人	80 (参1) 48% (参2) 380人		
(めざすべき方向) <						

1-⑩	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	3,913
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校園での教育活動の活性化を図る。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) 学校支援社会人等指導者を活用した回数		実績値 [A] (回)	1,639	1,692		
(目標値の根拠) 活用回数の上限		目標値 [B] (回)	1,865	1,865	1,865	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	87.88	90.72		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・指導者確保の工夫として、コミュニティ・スクールを活用するなど、地域にあった方法を検討していただきたい。（R5点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

1-⑪	PBL（課題解決型学習）推進事業	担当課	教育指導課 ・教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	-
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
社会が急速に変化し、予測が困難な時代を迎える中、未来を担う子どもたちが、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協力して課題を解決していくための資質・能力を習得するため、目の前の課題に向き合い自ら考え対処し新たな解を生み出すPBL（課題解決型学習）を枚方市立小中学校で実施する。令和8年度は、小学校1校、中学校1校を旗艦校に指定し、取組状況を他校に横展開するとともに、PBLの段階的な習熟を目的とし、「PBL実践講座」を新たに提供する。また、有識者による伴走支援のもと、PBLに関する体系的な知識と実践力の向上を支援し、より広範な学校および教職員にPBLの導入を推進することに取り組む。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 学校教育自己診断「学校や社会は自分たちで変えられる」の中学3年生の肯定的な割合		実績値 [A] (%)		74.2		
（目標値の根拠） 学校教育自己診断「自分の行動で学校や社会を変えられると思う」の中学3年生の肯定的な割合 （段階的な増加を目指すもの）		目標値 [B] (%)		80.00	80.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら $C = A \div B$ ※ [□] なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ （小数第三位を四捨五入）		92.75		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_02_子どもの確かな学力の定着を図る			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。一人ひとりの個性や価値観、多様化する人権課題を身近に感じ、考える機会を作ることで、全ての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にすることを養います。^①また、多様な文化を認め合い、人類普遍の理念である平和の持つ意義を学ぶとともに、国際社会に貢献する資質や態度を身に付けられる教育を進めます。^②

外国籍や長く外国で居住していたなどの理由で、日本と異なる言語・文化・習慣で育った子ども等に対しては、日本語習得のための機会の提供や相談支援などを進めながら、学習の中で互いの文化を学び、尊重し合うことで、多文化共生の推進に取り組みます。^{②③}

小・中学校期における健全な身体の育成に向け、大学との連携による効果的な体育科の授業実践や民間活力を活用した専門スタッフによる水泳指導^⑤などにより、体力・技術力の向上に取り組むとともに、中学校部活動については、引き続き専門的なスキルを持つ外部人材の活用や、大学、地域活動団体との連携によって、子どもたちが継続してスポーツや文化芸術に触れ合うことのできる機会の確保に努めます。^{④⑥⑬}

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加等、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、給食を通じて、望ましい食習慣や食を選ぶ力を育むとともに、食物アレルギーに配慮した安全・安心な給食の提供など、健全な食生活の形成と健やかな体が育まれる環境づくりを推進します。^{⑦⑧⑨⑩⑪⑫}小学校給食については、子育て世帯のさらなる負担軽減を図るため、令和6年2学期より給食費無償化に取り組んでいます。^⑦中学校給食については、これまでの検証や課題整理を踏まえ、PFI方式による新給食センターの整備などにより、令和10年2学期からの全員給食実施に向けた取り組みを進めます。^⑮

さらに、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会^⑬や、自然を生かした野外活動などの体験活動を拡充します。^⑭

主要事業の状況

2-①	人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業)	担当課	支援教育課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	1,543
					決算額	
事業概要(令和8年度の取り組み内容)						
学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。						
指標		R6年度		R7年度		R8年度
(実績値の内容) 大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数		実績値 [A] (人)		431		462
(目標値の根拠) R6:420人 R7:440人 R8:460人 R9:480人 ※R6年度目標から5%ずつ増加		目標値 [B] (人)		420		440
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※◇ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)		102.62		105.00
令和8年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・研修の実施で完了するのではなく、研究事業としての成果をまとめるなど、研究の積み上げを今後に生かしていく効果的な方法に努めていただきたい。(R6点検評価員会議) ・昨年度に意見していた研究事業の成果をとりまとめたことは評価できる。研究成果は研修などで活用いただき、人権教育のさらなる推進を期待する。(R7点検評価員会議)						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				
2-②	多文化共生教育研究事業【再掲】※基本方策1に記載			担当課	支援教育課	

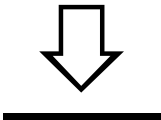
2-③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	7,715
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、日本語及び教科の学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣し、当該児童等の孤立感の解消や学校生活への適応の促進に努めることにより、当該児童等に対する教育の充実を図る。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 日本語指導が必要な児童・生徒に対する教育指導員派遣の割合 （派遣をしている児童・生徒数／派遣を必要とする児童・生徒数）		実績値 [A] (%)	100.00 (29/29)	100.00 (38/38)		
（目標値の根拠） 日本語指導が必要な児童・生徒に対する教育指導員の派遣の割合が100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・子どもたちの実態を踏まえ、特に手厚い支援が必要とされる来日直後の子どもたちへ十分な支援がなされるよう、事業の効果的な運用に努められたい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				
2-④	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載			担当課	教職員課 教育指導課	

2-⑤	学校水泳授業民間活用事業	担当課	教育政策課 新しい学校推進課 教育指導課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 118,322 決算額
事業概要（令和8年度の取り組み内容）					
・ 市立小学校における水泳授業について、民間施設や民間の専門スタッフを活用した取り組みを進めることで、児童の泳力向上を図る。併せて、水泳授業に関連する業務の改善や、学校プール施設の老朽化に伴う維持管理、改修・改築費用の縮減などにつなげる。 ・ 令和7年3月に作成した「小学校水泳授業民間活用に関する基本的な考え方」及び、令和8年3月に策定した「小学校水泳授業民間活用の全校実施に向けた年次計画」に基づき、令和10年度までに全校で実施できるよう、引き続き、学校、事業者と連携しながら、本事業を計画的に推進する。 ・ 令和8年度の実施校24校 ※前年度実施校14校に加えて新規10校（小倉、平野、東香里、春日、交北、五常、山之上、桜丘、香陽、招提） ・ 旧中宮北小プール跡地を活用した、民設民営による新たなプール施設の確保について、跡地活用事業者の公募及び事業者決定に向け取り組む。					
指標		R6年度		R7年度	R8年度
（実績値の内容） 水泳授業の委託を行った学校の数		実績値 [A] （校）	12	14	
（目標値の根拠） 段階的に小学校の水泳授業の委託を実施する。（R7:14校、R8:24校、R9:34校、R10:44校） ※令和8年度以降は「小学校水泳授業民間活用の全校実施に向けた年次計画」に基づく実施校数		目標値 [B] （校）	13	14	24
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	92.31	100.00	
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
・ 費用対効果も注視しつつ、子どもたちが楽しみながら泳力向上をめざせる方策を講じられたい。（R7点検評価員会議）					
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	令和5年度所信表明、令和8年度市政運営方針			
	実行計画	第3期実行計画16_03 高い指導力と意欲を持つ教職員の育成			R7からR8の達成度の推移
	関連計画	小学校水泳授業民間活用の全校実施に向けた年次計画			

2-⑥	部活動指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	16,919
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 中学校部活動指導協力者の派遣回数 （指導協力者の派遣1回につき2時間、教員の負担軽減が図られたとみなす）		実績値 [A] (回)	5,463	5,736		
（目標値の根拠） 派遣回数の上限		目標値 [B] (回)	6,650	6,650	6,650	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	82.15	86.26		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・教員と同様に、部活動指導協力者に対しても、体罰防止等の研修の実施を検討すべきである。（R5点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_03_高い指導力と意欲を持つ教職員の育成			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

2-⑦	小学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	1,540,092
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・全小学校の児童を対象に、2箇所センター方式の共同調理場、5箇所親子方式共同調理及び22箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便等の業務について業務委託により実施する。 ・小学校給食の無償化については、今後も継続して子育て世帯の負担軽減に取り組むとともに、引き続き学校給食摂取基準に基づいた児童に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供に努める。また、給食を喫食しない児童に対し、当該世帯の代替支援としての補助の実施に向けた取り組みを進める。 ・学校給食の牛乳パックについては、民間事業者と連携し、リサイクルに取り組むとともに、指導担当部署等との調整により、児童への環境啓発への取組みにつなげており、今後も継続して実施する。						
指標		R6年度		R7年度		R8年度
（実績値の内容） 年間の栄養量の充足率		実績値 [A] (%)	95.00	95.00		
（目標値の根拠） 年間の栄養量の充足率100% ※文部科学省の示す栄養量の基準（13項目）が基準値を超えていれば100%、そうでない場合はその割合（%）を平均に算出		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向）		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※▽ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	95.00	95.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・学校給食の牛乳パックのリサイクルの取組みの教育効果を高めるため、児童へのフィードバックの更なる充実を期待する。（R5点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画15_01_子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

2-⑧	学校給食における地元農産物利用促進事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	-
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図っている。令和4年度より精米の納入先を切り替え、地元農産物の使用率が大幅に減少したが、引き続き枚方産及び府内産野菜の積極的な活用に取り組んでいる。今後は、献立等を工夫することにより、できるだけ多く地元農作物に触れる機会を設けるよう取り組む。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 給食実施日数に対する地元農産物の使用日数の割合 （大阪府内産・枚方産の使用日数の割合） （参考指標） 給食実施日数に対する地元農産物の使用日数の割合 （枚方産の使用日数の割合）		実績値 [A] （%）	— （参） 43.15	74.62 （参） 44.16		
（目標値の根拠） 年間の地元農産物使用日数の割合目標値 （参考指標） 年間の地元農産物（枚方産）使用日数の割合目標値		目標値 [B] （%）	70 （参） 40	70 （参） 40		
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※△ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	— （参） 107.88	106.60 （参） 110.40		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

2-⑨	食物アレルギー対応推進事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	-
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・食物アレルギー対応の適切かつ的確な取組みを進めるため、主治医が記載した学校生活管理指導表や学校におけるアレルギー疾患対応の手引きに基づき、学校給食における食物アレルギー対応上の事故（救急搬送）件数（新規発症を除く）が0件となるよう、安全の確保に取り組む。 ・中学校給食においては、毎日、8大アレルゲンを使用しない代替食を提供することで、より安心安全な給食提供を実施しており、今後も継続して取り組む。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）件数		実績値 [A] (件)	0	0		
（目標値の根拠） アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）がないこと		目標値 [B] (件)	0	0	0	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△なら C=A÷B ※▽なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

2-⑩	学校健康管理事業	担当課	学校支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	6,529
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
学校園医（内科医、眼科医、耳鼻科医）、学校園歯科医、学校薬剤師、結核検診医、心臓検診医、腎臓検診医、歯科衛生士による小学校44校、中学校19校での内科、眼科、耳鼻科、歯科健康診断などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」の規定どおりに学校園医を配置できている割合		実績値 [A] (%)	107.96	107.96		
（目標値の根拠） 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	107.96	107.96		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

2-⑪	健康診断事業	担当課	学校支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	38,654
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
全学校において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 定期健康診断の受診率（受診者数/対象者数×100）		実績値 [A] (%)	99.55	99.45		
（目標値の根拠） 対象者全員		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	99.55	99.45		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・不登校児童生徒に対しても、様々な方法でアプローチされていることは評価できる。引き続き、きめ細やかな対応を行い、全員が受診できるよう努めていただきたい。（R6点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

2-⑫	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	510,636
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。 ・食材料費の物価高騰相当額を枚方市学校給食会へ補助することで、生徒に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供に努めていく。今後も引き続き、質を確保した給食提供に取り組む。 ・学校給食の牛乳パックについては、関係部署等と連携し、リサイクルに取り組んでおり、今後も継続して実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 中学校給食の喫食率		実績値 [A] (%)	38.55	39.65		
（目標値の根拠） 中学校給食の各年度目標喫食率		目標値 [B] (%)	50.00	50.00	50.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△なら C=A÷B ※▽なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	77.10	79.30		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約					
	実行計画				R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画					

2-⑬		文化財活用事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	600
事業概要（令和8年度の取り組み内容）							
- 文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替え - 文化財防火デー（市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施） - 歴史講座、歴史ウォーク（市内文化財めぐり等） - 枚方まつりで大阪工業大学の協力を得てAR映像を使った啓発ブースの出展 - 文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で発掘調査の出土遺物等を展示、枚方宿での「まちかど歴史展示」） - 旧田中家民俗資料博物館「カマドでご飯を炊こう」 - 新旧鋳物工場を巡る「鋳物ツーリズム」 - 発掘調査現地説明会 - 刊行物（文化財関係図書等）の発行など - 出前講座 - 古文書講座							
指標				R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 歴史関連イベントの参加者数		実績値 [A] (人)		2,337	3,427		
（目標値の根拠） 過去のイベント（平成18年～前年）の参加者数の平均値を目標値とする（事業統合により、令和2年度から古文書講座・楠葉台場跡の活用事業を加えた）		目標値 [B] (人)		1,309	1,343	1,447	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら $C = A \div B$ ※ [▽] なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)		178.53	255.17		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）							
これまでの点検評価員等からの主な意見							
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち				達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針					
	実行計画	第3期実行計画19_01 歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実				R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-					

2-⑭	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	3,805
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
野外活動センターの利用増をめざし、学校キャンプ（日帰り・宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 施設の市内小中学校のキャンプ利用件数 （日帰り・宿泊）		実績値 [A] （件）	23	21		
（目標値の根拠） R6年：20件、R7年：21件、R8年：22件、R9年：23件 事務事業実績測定と同様に、R6年度に前年度実績を目標値とし、毎年1件ずつ増加を目指す。		目標値 [B] （件）	20	21	22	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※△なら C=A÷B ※▽なら C={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	115.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画17_04 スポーツ活動の推進			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

2-⑮	中学校給食における全員給食実施事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 80,606 決算額
事業概要（令和8年度の取り組み内容）					
・学校給食は、子どもたちに栄養バランスのとれた食事を提供し、健康増進や体位向上を図るだけではなく、食育の教材として活用することで生涯にわたる豊かな食生活を培うものであることから、中学校の全員給食を行い、より豊かな学校生活をめざす。 ・令和7年度に実施した事業者公募では事業者の参加表明がなかったため、再度の事業者公募に向け、令和8年度も引き続き、アドバイザー委託において、新給食センターの整備をPFI方式で進めていく上で必要な実施方針や要求水準書を作成するとともに、枚方市立中学校全員給食事業PFI事業者選定審議会を開催し事業者公募に向けての取組みを進めていく。					
【整備項目】					
①配膳室エアコン設置、②備品購入、③懇話会開催、④今後の方針の決定、⑤方針に基づく計画の作成、⑥学校への説明、⑦第一共調設計委託、⑧可能性調査、⑨アドバイザー委託、⑩第三共調解体・設計、⑪配膳室拡張設計委託、⑫第三共調工事、⑬配膳室拡張実施工事、⑭第一共調改修工事、⑮物品・大型備品等の購入					
指標		R6年度		R7年度	R8年度
（実績値の内容） 持続可能な中学校給食の運用開始に必要な整備達成率 ※「整備項目」は「事業概要」の①～⑮のとおり		実績値 [A] (%)	49.33 (指標①②③④⑤⑥⑧⑨)	58.70 (指標①②③④⑤⑥⑧⑨⑪)	
（目標値の根拠） 各年度の整備達成率		目標値 [B] (%)	51.33 (指標①②③④⑤⑥⑧⑨)	59.30 (指標①②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪)	78.00 (指標①②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪⑬)
（めざすべき方向） 					

2-⑯	中学校部活動地域連携事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	16,622
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
中学校部活動の在り方については、スポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を踏まえて、本市の実情に沿った「ひらかたモデル」としての部活動の方針の改訂に向けて、枚方市中学校部活動の在り方懇話会や関係課で組織する庁内委員会において協議、検討を進めていく。 令和8年度は、「ひらかたモデル」の策定に向けて、意見聴取会である有識者、保護者、学校長、関係団体からなる枚方市中学校部活動の在り方懇話会の開催、及び学校内外における地域部活動の試行実施等を行う。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 外部指導員等の指導により運営する中学校部活動及び地域クラブ数		実績値〔A〕 （クラブ）	8	12		
（目標値の根拠） 外部指導員等の指導により運営する中学校部活動及び地域クラブ数 （本市の地域実情や国の動向等を踏まえ段階的に数値を設定）		目標値〔B〕 （クラブ）	6	9	15	
（めざすべき方向） 		達成度〔C〕 （％） ※△ならC=A÷B ※▽ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	133.33	133.33		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・地域の実態に即した実施が求められ、多くの課題がある事業だが、今後も地域移行に向けて、試行錯誤しながら取り組みを進めてほしい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_03_高い指導力と意欲を持つ教職員の育成			R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	－				

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力等、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」ことを目標に、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で「研修履歴を活用したキャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「『Hirakata授業スタンダード』に記載されている授業計画時に大切にしたい5つのCの視点に基づいた授業改善」「人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援の充実」「課題解決型学習（Project Based Learning〔PBL〕）による授業改善」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、教職員の資質・指導力の向上をめざします。^①

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人・授業マイスターによる研究授業等により、授業改善につなげる^②ことで、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実させる^{①③}とともに、子どもと向き合う時間の確保や学校教育の水準の維持・向上に資するため、教職員が、健康でやりがいを持って生き生きと勤務できるよう、業務量を適切に管理するとともに心理的安全性*のある職場づくりを強化する等、学校の働き方改革を推進します。

さらに、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善や、「カリキュラム・マネジメント」等の組織運営改善に係る教育課題に対応した研修のほか、教職員研修に関する最新の情報や資料、研究校の実践などを確認できるポータルサイト「まなV i V A！ひらかた」の活用促進などで指導力の底上げを図ります。^①また、情報活用指導力の育成のため、ICT活用のねらいを明確にした教職員のICT活用指導力の向上に係る研修にも取り組みます。

主要事業の状況

3-①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 4,492	決算額
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。「『学び続ける教職員』を育成し、枚方子たちの『生きる力』をはぐくむ」ことを目標に、「研修履歴を活用したキャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「Hirakata授業スタンダード」に記載されている授業計画時に大切にしたい5つのCの視点に基づいた授業改善」「人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援」「課題解決型学習(Project based Learning [PBL])による授業改善」の4点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育アドバイザー等（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、初任期教職員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「GIGAフェス」を実施。						
指標		R6年度		R7年度		R8年度
（実績値の内容） 研修振り返りシートにおいて、授業や学校運営において実践したい内容が見えてきたと回答した割合 （参考指標） 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合		実績値 [A] （%）		— （参） 96.87%		— （参） 95.83%
（目標値の根拠） 研修振り返りシートにおいて、授業や学校運営において実践したい内容が見えてきたと回答した割合が100% （参考指標） 100%（研修の実質的効果）		目標値 [B] （%）		— （参） 100%		100.00
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※△ならC=A÷B ※▽ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）		— （参） 96.87%		— （参） 95.83%
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りや指導力についての評価が高まってきたそうである。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_02子どもの確かな学力の定着を図る			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画					

3-②	授業の達人養成・教科研究事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 400 決算額
事業概要（令和8年度の取り組み内容）					
児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」を実施。講座受講者は2年間の講座受講後、授業マイスターの認定判定を受ける。授業マイスターは、示範授業、実践発表を一定の回数行い、その後、授業の達人の認定に向け、研究授業等を行う。					
●授業の達人養成講座					
・外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。					
・教材研究、学習指導案の検討を行い、年2回の研究授業（公開授業）を実施。					
・先進地域、先進校への視察を実施。					
指標		R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 研修振り返りシートにおいて、授業や学校運営において実践したい内容が見えてきたと回答した割合 （参考指標）受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合		実績値 [A] (%) — (参) 99.08%	— (参) 98.00%		
（目標値の根拠） 研修振り返りシートにおいて、授業や学校運営において実践したい内容が見えてきたと回答した割合が100% （参考指標）受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合		目標値 [B] (%) — (参) 100%	— (参) 100%	100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※◇ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) — (参) 99.08%	— (参) 98.00%		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りと指導力についての評価が高まってきたそうである。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）					
・「授業の達人養成講座」の受講者の理解度・満足度がともに100%であることは評価できる。今後は、受講者の研修内容の伝達度に着目した指標を設定することについて、検討をお願いしたい。（R5点検評価員会議）					
・マイスター認定後、達人認定までの基準に関してロードマップを作成し明確化したことは評価できる。認定に向けて適切なフォローを行いながら、質の高い教育を実践する教員の育成に取り組んでいただきたい。（R6点検評価員会議）					
・今後も、見直しを行った達人認定の基準をもとに、指導力の高い教職員の育成に取り組まれることを期待する。（R7点検評価員会議）					
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		達成度	
	市長公約	—			
	実行計画	第3期実行計画16_03高い指導力と意欲を持つ教職員の育成		R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	—			
3-③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載			担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害の有無にかかわらず、全ての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」という観点から、障害への理解の促進や、ともに育つ環境づくり等を踏まえた教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させるとともに、全ての学びの場における子どもたちの過ごしやすさを検討し、ユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます。

障害のある子どもの教育機会の確保や自立と社会参加の推進に当たってのコミュニケーションの重要性に鑑み、ICTの活用も含め、障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた教科書、教材、支援機器等の活用を促進します。また、通級指導教室については、特別支援教育支援員の配置拡充によるサポートの充実を図るとともに、他校に移動することなく時間割の中で通級による指導を受けることが可能な自校式通級指導教室の拡充を図ります。

また、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進める^②とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組みます。^③

さらに、専門的な知識・技能をもつ相談員が市内幼稚園、認定こども園を訪問して教育相談に応じる幼稚園巡回相談や、就学前の幼児を対象とした言語訓練指導など、個に応じた指導、支援を通じて就学前から各園、家庭と連携して支援教育の充実を図っていきます。^{①④}

配慮を要する子どもについて、支援教育コーディネーターを中心に、教育支援ツールなどを活用して、より効果的・効率的に個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・見直しを行うとともに、引き続き、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要な全ての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で一人ひとりの状況に応じた支援教育の充実に取り組みます。^①

また、学識経験者や教職員、市民で構成される支援教育充実審議会で議論を深め、専門的・多角的な視点をもって支援教育の充実を図っていきます。^①

4-①	支援教育推進事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	541,543 (内R7から繰越500)
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配する。 ・令和8年3月に策定した枚方市支援教育サポートブックをもとに支援教育の充実に努めるとともに、ブラッシュアップしていく。 ・障害のある児童・生徒の適切な就学及びその後の個別の教育支援計画の策定等に際し、医学、心理学、教育学の専門家（枚方市教育支援アドバイザー）より助言を受け、支援教育の充実を図る。 ・肢体不自由児介助員を配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、学習等の介助を行う。 ・学校看護師を配置し、小中学校の医療的ケアを必要とする児童・生徒の日常生活を支援する。 ・支援教育支援・介助員（発達担当）、支援教育補助員（発達担当）を全小中学校に配置し、支援を要する児童・生徒の生活、学習等の補助を行う。 ・通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。 ・支援学級在籍の児童を対象に、動物とふれあい、豊かな心の育成を目的として自立のための支援を行う。 ・肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。 ・車椅子で移動が必要な児童・生徒が在籍する学校に対して、階段の昇降に必要な「階段昇降車」を貸与する。 ・通級指導教室において、指導に必要な教材や備品等の整備を行う。 ・支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。 ・効果的なアセスメントを実施し、適切な教材を選択できるようにするため、全小中学校に導入した教育支援ソフトを活用して、児童・生徒一人ひとりに個別最適な指導を行う。 ・支援教育の向上、発展に寄与する研究会に参加し、本市の支援教育のより一層の充実に努める。 ・支援教育課職員が、学校園、保育所（園）、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。 ・全小中学校に設置した通級指導教室の今後の拡充に向けて、啓発や取り組みを発信する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣割合 （利用したい時に利用できた者数÷利用者数×100）		実績値 [A] (%)	91.30% (105/115)	93.63% (147/157)		
（目標値の根拠） ニーズに応じ、小・中学校専門家、理学療法士リーディングチーム等の派遣を行う。 （利用したい時に利用できた者数÷利用者数×100）		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [◇] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	91.30	93.63		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・他市のモデル事業となるよう、今後も引き続き、一人のひとりの教育的ニーズを大切にした「ともに学び、ともに育つ教育」の実現に向け、取組みを進めていただきたい。（R5点検評価員会議） ・自校式通級指導教室を導入するなど、今後の通級指導教室の拡充に向けての取組みを進めていることは評価できる。また、支援教育充実審議会の答申を踏まえた今後の取組みについても期待したい。（R6点検評価員会議） ・枚方市支援教育充実審議会での議論を踏まえた今後の支援教育の方向性に沿った取組みを進めるなど、引き続き、支援教育の充実に尽力されたい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度			
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_08支援教育の充実	R7からR8の達成度の推移			
	関連計画	－				

4-②	通学困難児童・生徒通学等 タクシー支援事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	2,498
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・小中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。 ・市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 通学タクシーを利用したい時に利用できた割合 （参考指標） タクシーを利用した児童・生徒の人数		実績値 [A] （%）	— （参）33人	82.35 （14/17）		
（目標値の根拠） 100% （利用したい時に利用できた者数÷利用者数×100） （参考指標） 年度当初の通学タクシー利用申請人数		目標値 [B] （%）	— （参）30人	100	100	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※ [△] ならC=A÷B ※ [◇] ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	— （参）110.00	82.35 （14/17）		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	—				
	実行計画	—			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	—				
4-③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載			担当課	教育研修課	

4-④	就学前支援教育推進事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	5,771
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・幼稚園巡回相談を実施し、発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児への個に応じた指導について、専門的な知識・技能をもつ相談員を市立幼稚園及び市内の私立幼稚園・認定こども園に派遣する。相談員が教職員への指導・助言を行うとともに保護者からの教育相談に応じることにより、各園及び家庭との連携を通して、支援教育の一層の充実を図る。 就学前の幼児を対象とした言語訓練指導（幼児ことばの教室）を実施し、吃音、構音障害など、主に言語面に課題がある5歳児を対象に、元小中学校通級指導教室担当の指導員が個別指導を行う。 ・幼稚園に在籍する個別の支援や配慮を要する幼児への指導・支援に関し、特別支援加配員（旧：支援教育担当）及び生活支援員を配置する。また、医療的ケアを必要とする幼児が入園する場合、日常生活の支援をする為、看護師を配置する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 支援が必要と認められた園児に対する支援率 （加配をしている園児数/支援を必要とする園児数×100）		実績値 [A] （%）	100.00	100.00		
（目標値の根拠） 支援が必要と認められた園児に対する支援率100%		目標値 [B] （%）	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・専門員の巡回等による幼児や保護者に対する相談支援が重要であり、家庭に寄り添った支援を進めていただきたい。（R4点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画15_01子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加等、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取り組みを進める必要があります。

幼児教育の目的は「生涯にわたる人格形成の基礎を養う」ことであり、令和元年度から市立幼稚園で拡充した3歳児保育などに引き続き取り組みながら、「幼稚園教育要領」にある、自立心や協同性、道徳性などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実現するため、幼児一人ひとりの望ましい発達を促すとともに、学級集団に応じた適切な指導を行います。^{①②③}また、小学校区ごとに作成する「架け橋コンパス」を活用した、幼保こ小の架け橋プログラムの取り組みや、就学前児童と小学生の交流体験、職員の合同研修などを通じて幼児期（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）と児童期（小学校）の教育の円滑な接続・連携を図り、学びや発達の連続性を踏まえた取り組みを推進します。^①

幼稚園での預かり保育については、受け入れ定員の拡大や実施時間の延長などの充実を図ってきており、今後も引き続き、保護者の心身のリフレッシュや就労支援等のニーズに対応できるよう取り組みます。^④

また、地域の未就園児も含めた親子での遊びの場の提供や、保護者交流の場の提供、さらには子育て相談の取り組みを推進します。^{①④}

主要事業の状況

5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	1,207
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育のコーディネーター的な役割が果たせるよう、小学校・私立幼稚園・認定こども園・公私立保育所（園）等と連携を図るとともに、未就園児親子が参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談等に取り組む。また、幼保こ小の架け橋プログラム事業の取り組みとして、市がコーディネーターの役割を担いながら、地域就学前児童施設や小学校との関係の構築を図る。						
指標		R6年度		R7年度		R8年度
（実績値の内容） ①及び②を達成した幼稚園数 ①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動（学校見学・授業見学・児童との交流・給食体験など）を、年間を通して5回以上実施する ②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年間を通して2回以上開催する		実績値 [A] （園）		6		
（目標値の根拠） すべての市立幼稚園において①及び②を達成する		目標値 [B] （園）		6		6
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※△ならC=A÷B ※▽ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）		100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・ 小学校への円滑な接続が重要であり、引き続き、授業見学や教員同士の連携の充実を図り、幼稚園児が進学後も安心して小学校生活を送れるよう取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議） ・ 小学校や保育園との連携が進んだ点は評価できる。今後とも、私立の就学前施設との連携を図りながら着実に事業を進めていただきたい。（R5点検評価員会議） ・ 幼稚園等の就学前施設と小学校での合同の研修会や互いの授業視察などを通じて相互理解を深め、小学校へのスムーズな接続に向けて連携していることがうかがえる。（R6点検評価員会議） ・ 幼保小の「架け橋プログラム」などを通じた小学校へのスムーズな接続に向け、今後も公私の就学前施設と小学校が連携した取り組みを進めていただきたい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_04子どもの豊かな人間性を育む			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				
5-②	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載			担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	

5-③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
-----	------------------------------	-----	-------------------

5-④	幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)	担当課	公立保育幼稚園課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額 71,225	
					決算額	

事業概要(令和8年度の取り組み内容)

幼稚園で預かり保育を実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。

指標		R6年度	R7年度	R8年度
(実績値の内容) 保護者のニーズ(申し込み)に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率	実績値[A] (%)	98.60	97.70	
(目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100%	目標値[B] (%)	100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向) 	達成度[C] (%) ※ ^① ならC=A÷B ※ ^② ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	98.60	97.70	

令和8年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)

--

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・定員拡充の試行実施を行うとのことだが、引き続き保護者ニーズに沿った利用しやすい事業への拡充に努めていただきたい。(R6点検評価員会議)
- ・定員拡充の試行実施を行った結果や保護者ニーズを踏まえ、より充実した事業展開となるよう検討されたい。(R7点検評価員会議)

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	第3期実行計画15_01子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり	R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画		

基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「社会に開かれた学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みの構築やコミュニティ・スクール等、学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の活性化に取り組みます。^①また、地域人材等も積極的に活用しながら、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組みます。

学校園の信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力・学習状況調査の結果や分析内容をはじめ、「学校いじめ防止基本方針」や校内における相談体制、各学校の教育計画を各学校ブログに掲載するなど、学校の取り組みや校内での子どもの状況等の情報を積極的に公表していきます。^{①②}また、学校と保護者との連絡体制については、共通アプリを使用した学校情報の発信や児童・生徒の出欠連絡など、デジタル技術を生かした利便性の高い連絡手段の確立に取り組みます。

教育に関わる課題が多様化・複雑化する中、より地域や保護者との協力関係を築きながら、学校の組織としてのあり方の見直しや業務の改善を進める^①ことで、「チーム学校」としての機能を果たせるよう、学校園ガバナンスの確立に取り組みます。

主要事業の状況

6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	3,010
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
枚方市では保護者及び地域住民等からなる学校運営協議会を設置した学校を枚方市におけるコミュニティ・スクールと定義し、協議会の最大の目的を「校長の学校運営に対して必要な支援を行うこと」としている。 地域全体で教育を実現する仕組みの構築をめざし「学校と家庭、地域が連携・協働し、子どもたちの健やかな成長を支えていく学校づくりを進めていくこと」をねらいとした研修会等を定期的に開催し、枚方市におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取組内容等の発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。						
指標		R6年度	R7年度	R8年度		
（実績値の内容） アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合		実績値 [A] (%) 95.45	100.00			
（目標値の根拠） 肯定的回答の割合100%		目標値 [B] (%) 100	100			
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※▽ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) 95.45	100.00			
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・コミュニティ・スクールについては、地域全体で協働して学校運営に取り組む体制が構築されていることが伺える。今後、子どもたちの学びを更に豊かにするために、コミュニティ・スクールなどによる「地域とともにある学校づくり」を推進していく必要がある。全国的にもコミュニティ・スクールに関する取組みが推進されている中で、今後も、好事例校に着目したデータ分析も行いながら、地域の方々の力を活用した教育の充実を図っていただきたい。（R4点検評価員会議） ・今後は、学校や子どもたちへの支援にフォーカスをあてた取組みの充実を期待している。あわせて、新たな指標の検討もお願いしたい。（R5点検評価員会議） ・ブログやホームページを活用し、学校や子どもたちの様子を積極的に発信することで、地域や保護者等との協力関係構築に向け努力が払われている。今後も積極的な情報発信や地域との協働を進め、開かれた教育委員会、学校をめざして取り組んでいただきたい。（R6点検評価員会議） ・指標の100%達成をめざし、好事例の共有など保護者や地域住民との協働が進むよう、地域の実情に応じた支援を進めていただきたい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

6-②	教育委員会広報事務	担当課	教育政策課 教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 6,344	
						決算額
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
児童・生徒、保護者、市民にとって必要な情報を適切に発信するため、学校の取り組みや子どもの状況のほか、教育委員会での取り組み等について、学校ブログやホームページを用いて積極的に公表するとともに、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげる。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 1か月あたりの平均ブログ閲覧数（全小中学校と委員会）			実績値 [A] (件)	239,171	347,339	
（目標値の根拠） 令和5年度実績（月平均222,811件）を基準に毎年度5%ずつ増（アクセス数を増加させることで、開かれた学校づくりを推進するもの） R6年度 222,811件（R5年度実績）×1.05 R7年度 222,811件（R5年度実績）×1.10 R8年度 222,811件（R5年度実績）×1.15			目標値 [B] (件)	233,952	245,092	256,233
（めざすべき方向） 			達成度 [C] (%) ※ [◇] ならC=A÷B ※ [▽] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	102.23	141.72	
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・ブログ等を通じて学校の日々の様子が簡単に知ることができるようになることで、学校がより身近な存在になると考える。引き続き、子ども・地域・教職員の元気な様子が伝わる、ポジティブな情報発信の充実を期待する。（R5点検評価員会議） ・引き続きブログやホームページを活用した情報発信の充実を図る一方で、個人情報の漏洩を防止するなど、子どもたちの安全性の確保に十分留意されたい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境など様々な理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりに向けて、オートロックや機械警備、監視カメラの設置等による学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携のほか、専用端末を使用した子どもの位置情報履歴確認サービス等による、通学路も含めた安全対策の強化^②、不審者情報等緊急情報のSNS発信^③など、複合的な対応により安全で安心な体制の構築に努めます。

さらに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子どもも自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します。^③

必要な消耗品・備品等の配備など、新型コロナウイルス感染症等への対応を契機に見直した、状況に応じた安全対策を引き続き活用するとともに、子どもたちには、自分や周囲の大切な人を守るための実践力を育てます。

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、平時より関係団体・家庭・地域が連携して、いじめを起こさない、いじめを許さない環境づくりを進める^④とともに、SNS相談の実施などによるいじめの早期発見、早期解決に取り組みます。また、市長部局に設置されたいじめ相談窓口との連携を図り、相談体制の整備を推進し、相談者等に寄り添った解決をめざします。さらに、いじめを受けた、いじめに関わった児童・生徒に対しては、各学校の心の教室相談員やスクールカウンセラーにより心のケアを図ります。^{④⑤⑥⑦⑧}

児童・生徒の不登校の兆しにも留意しながら、より一層の未然防止に努める^⑩とともに、「つながりなしをゼロに」をキーワードに、引き続き、児童・生徒の状況に合わせた居場所の拡充^⑩を図りながら、校内教育支援ルームや教育支援センター「ルポ」での学習支援、メタバース空間などを生かしたオンライン支援など、児童・生徒の社会的自立をめざした取り組みを進めます。^{⑦⑩}

また、不登校やひきこもり、児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラー等、支援を必要とする児童・生徒に関わる様々な事象に対しては、未然防止や早期対応ができるよう、行政各分野が持つ子どもの情報の共有化を適切に進めるとともに、「子どもを守る条例」を踏まえながら、関係部署、関係機関、地域とともに総合的な取り組みを進めていきます。^⑨

^⑩

主要事業の状況

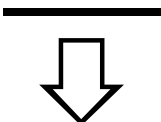
7-①	小学校安全監視事業	担当課	新しい学校推進課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	43,615
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し、安全監視を実施する。 ・来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） ①監視カメラの稼働率 ②安全監視ボランティアの従事率 （参考指標） 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数		実績値 [A] （%）	①99.96 ②89 （参）0件	①99.81 ②96 （参）0件		
（目標値の根拠） ①監視カメラの稼働率 100% ②安全監視ボランティアの従事率 100% （参考指標） 全小学校の侵入事案なし		目標値 [B] （%）	①100.00 ②100.00 （参）0件	①100.00 ②100.00 （参）0件	①100.00 ②100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※◇なら C=A÷B ※□なら C={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	①99.96 ②89.00 （参）100.00	①99.81 ②96.00 （参）100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・事件等がなければ、達成度はずっと100%になる。例えば予定通りカメラの修繕を行えたかどうかなどを指標とすればいいのではないか。（R4点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

7-②	通学路安全対策事業	担当課	新しい学校推進課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	25,436
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。 ・「枚方市子ども交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、警察等と連携した通学路の安全保持を実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） ①通学路上の信号機のない横断歩道や踏切等の危険な道路で、交通専従員・交通指導員が必要と認められた箇所における交通専従員・交通指導員の配置率 ②通学路の危険箇所における安全対策（※）実施率 （※）路面標示の整備や警告看板の設置等		実績値 [A] %	①98.00 ②100.00	①95.00 ②100.00		
（目標値の根拠） ①交通専従員・交通指導員の配置率（100%）＝交通専従員・交通指導員の配置人数／交通専従員・指導員配置目標人数×100 ②通学路の危険箇所における安全対策実施率（100%）＝安全対策の実施数／学校から報告のあった危険箇所数		目標値 [B] %	①100.00 ②100.00	①100.00 ②100.00	①100.00 ②100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	①98.00 ②100.00	①95.00 ②100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画16-07教育環境の充実			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

7-③	小中学校安全対策事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	4,572
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。 ・小中学校においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。 ・いのちの大切さを学ぶ教育を在学中に受けられるように、全小学校の高学年を対象に小学校において、胸骨圧迫とAEDの取り扱いに特化した救命講習を実施する。 ・小学校において防災キャンプを実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 小中学校における交通安全教室の実施回数		実績値 [A] （校）	107	107		
（目標値の根拠） 全中学校（19回）、小学校歩行交通安全教室（44校）自転車交通安全教室（44回）		目標値 [B] （校）	107	107	107	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※△ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・小学校高学年対象の救急救命講習は重要であるので、継続してほしい。（R6点検評価員会議） ・子どもたち自らが危険を回避する能力を養えるよう、より実践的な防災訓練の実施を検討されたい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-				
	関連計画	-			R7からR8の達成度の推移	

7-④	生徒指導充実事業（枚方市 生徒指導体制充実事業）	担当課	教職員課 児童生徒課	事業費（千円） ※人件費のみ	予算額	56,274
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、警察等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。 ・生徒指導体制の構築と強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実に、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。 ・各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル（体罰防止編）を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 中学校全体の暴力行為の発生件数 （参考指標1）※（参1）と表記 小学校全体の暴力行為の発生件数		実績値 [A] （件）	80 （参1） 56	79 暫定値 （参1） 81 暫定値		
（目標値の根拠） 暴力行為発生件数が過去2年度実績の平均値より減少 （参考指標1） 暴力行為発生件数が過去2年度実績の平均値より減少		目標値 [B] （件）	88 （参1） 119	106.5 （参1） 88.5		
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※◇なら C=A÷B ※◇なら C={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	109.09 （参1） 152.94	125.82 （参1） 108.47		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・生徒指導充実事業については、中学校での暴力行為の増加は問題と考える。コロナ禍での生徒のストレス増加も原因の1つかも知れないが、詳細な分析と対策が必要である。また、近年の傾向から、小学校での暴力行為についても、今後、注視していくべきである。（R4点検評価員会議） ・小学校の暴力件数が年々増加し、中学校の暴力件数を超える状況である。今後も子どもたちの様子を見守りながら、対応方法の分析をお願いしたい。（R5点検評価員会議） ・全国的にも暴力行為が増えている状況を踏まえて、枚方市の状況の正確な把握と原因分析を進め、事後の指導だけではなく、未然防止にも重点を置いた対応を検討いただきたい。（R6点検評価員会議） ・発達支持的生徒指導の考え方に基づくクラスづくりが、問題行動を未然に防ぐ基盤となる。今後も研修や周知などを通して指導・助言を行い、問題行動の未然防止に努めていただきたい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針				
	実行計画	-			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

7-⑤	いじめ問題対策事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	32,887
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年10回程度開催する。 ・いじめ問題防止啓発資料「ストップ！いじめ」を枚方市立小中学校の児童・生徒が貸与されているタブレットに配信。（アイコンをタップするだけで開くようにしている） ・児童生徒課にいじめ対応として、弁護士、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを配置している。また、学校がいじめの未然防止、早期発見・早期対応、事後の迅速かつ適切な対応が行えるよう、指導助言する。 ・人権政策課のいじめ対策グループと連携して学校のいじめ対策の強化を図るため、月1回連携会議を開催している。また、人権政策課が開催する枚方市いじめ問題対策連絡協議会（枚方市の関係部課と大阪府子ども家庭センターや警察等外部関係機関に属する者で構成される）の定例会に参加し、教育委員会及び学校のいじめ対応の取組等を説明するなど、市長部局との積極的な連携を図っている。 ・重大事態については、第三者機関として重大事態調査委員会を設置している。 ・学校主体のいじめ重大事態調査において、第三者性を担保するため、利害関係のないスクールロイヤー・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの専門家を枚方市学校調査におけるいじめ重大事態調査アドバイザーとして委嘱し、校内調査委員会に派遣している。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） いじめの発生年度の次年度の6月末時点の認知したいじめの解消率（解消件数/認知件数）		実績値 [A] (%)	小：99.61 【3,087/3,099】 中：98.89 【896/906】	小：66.79 【1,945/2,912】 中：72.87 【701/962】 ※令和8年3月末時点		
（目標値の根拠） 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向）		達成度 [C] (%) ※ ^① ならC=A÷B ※ ^② ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	小：99.61 中：98.89	小：66.79 中：72.87 ※令和8年3月末時点		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・令和3年度においては、目標値である100%に近い解消率を示しており、また、事務局によると、年度末時点では、前年度比で約10%解消率が高くなったとのことである。いじめは起こらないことが第一であるが、残念ながら発生した場合には、引き続き早期解決に努めていただきたい。（R4点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_05_いじめの未然防止・早期発見			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

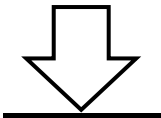
※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

7-⑥	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	300
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
枚方市立学校園で生じた緊急の課題に対し、幼児・児童・生徒・保護者及び教職員等の心のケア、教職員等に対して助言等を行うため、専門的な知識・経験を有する者を派遣する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） スクールアドバイザーの派遣要請に対して、スクールアドバイザーを派遣後、安心できたと回答した割合（報告数／派遣報告数 × 100）		実績値 [A] (%)	100.00 (15/15)	100.00 (5/5)		
（目標値の根拠） スクールアドバイザーの派遣要請に対して、スクールアドバイザーを派遣後、安心できたと回答した割合（報告数／派遣報告数 × 100）		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※▽ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

7-⑦	教育相談事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	11,314
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
●子どもの笑顔を守るコール（いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン） 幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。（平日 9:00～17:00） ●継続教育相談 幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。（要予約 月～金）						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 電話、来館による年間相談延べ件数（子どもの笑顔を守るコール、教育文化センター内での継続教育相談、教育文化センター内でのメンタルヘルス相談の延べ件数）（教職員課へ移管のためR6年度よりメンタルヘルス相談件数除く）		実績値 [A] (件)	1,689	1,669		
（目標値の根拠） 子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談の延べ件数の前年度実績		目標値 [B] (件)	1,922	1,689	1,668	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△なら C=A÷B ※▽なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	87.88	98.82		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・これまで相談件数が少なかった教職員のメンタルヘルス相談件数が、積極的な周知により増えたことは評価するが、働き方改革の視点も含めて教職員の負担軽減を進め、児童生徒と関わる時間の確保に努めていただきたい。（R6点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-				
	関連計画	-			R7からR8の達成度の推移	

7-⑧	「心の教室相談員」配置事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	8,888
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
小学校における不登校や問題行動など、生徒指導上の諸課題の解決のため、児童・保護者の相談活動及び教職員に対して専門的な見地から助言を行うなど、小学校の相談体制を充実させるため「心の教室相談員」を配置する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) 相談件数/全小学校の児童数×100		実績値 [A] (%)	76.19	81.36		
(目標値の根拠) 相談件数/全小学校の児童数×100 60%以上を目標とする。		目標値 [B] (%)	60	60	60	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	126.98	135.6		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-			R7からR8の達成度の推移	
	実行計画	-				
	関連計画	-				

7-⑨	福祉・教育ソーシャルワーク事業	担当課	まるっとこどもセンター	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	106,441
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有するSSWを19か所の拠点校に配置予定 ・配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応 ・教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法に基づく教職員への相談援助 ・小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進 ・学校と関係機関等との連携のコーディネート ・スクールカウンセラーとの連携 ・小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築 ・拠点校以外の学校への訪問による、児童・生徒の見立てやプランニング等。 ・各種研修会、連絡会等への参加 ・SSWに対し、法律、福祉、心理、教育の専門的見地から指導助言を実施する、スーパーバイザー（SV）の設置 ・相談支援体制拡充のためのSSWの増員						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） スクールソーシャルワーカー等の活動回数		実績値 [A] (回)	2,096	2,399		
（目標値の根拠） 【R6年度】 288回（SSW2人×週3日×48週） 1,920回（SSW10人×週4日×48週） 【R7年度】 576回（SSW4人×週3日×48週） 1,920回（SSW10人×週4日×48週） 【R8年度】 864回（SSW6人×週3日×48週） 1,728回（SSW9人×週4日×48週）		目標値 [B] (回)	2,208	2,496	2,592	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※▽ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	94.93	96.11		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画15_04子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくり			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	93,706	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）							
・不登校の兆候が見えた児童・生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校児童・生徒に対して、校内教育支援ルームなどを活用して、教育相談や学習支援などを行い、不登校児童・生徒に対する適切な支援を行う。 ・校内教育支援ルーム等担当者交流会を開催し情報交換を図る。 ・1人1台貸与されているタブレット端末をツールとして、不登校児童・生徒に対し、学習の保障のため、タブレットドリルの配信やオンライン授業を行う。また、双方向で学校と児童・生徒とコミュニケーションが取れるようにする。 ・枚方市教育支援センターと校内教育支援ルームの連携を図り、オンラインでのプログラム配信やメタバース空間を活用した支援等を行う。 ・「フリースクール等利用支援補助金」を実施する。 ・枚方市教育支援センター入室児童・生徒の学習活動・体験活動・創作活動等、社会的自立をめざした支援・指導を行う。他にも訪問指導として、指導員等が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う							
指標			R6年度	R7年度	R8年度		
（実績値の内容） 年間30日以上の不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒数の割合 【計算式】学校内外の施設につながっていない不登校児童・生徒数（年間30日以上）÷年間30日以上の不登校児童・生徒数×100 【□ 内の数値】年間30日以上の不登校児童・生徒の数		実績値 [A] (%)	小：36.95 中：37.63 〔 小：452 中：675 〕	小：17.37 中：25.00 〔 小：380 中：656 〕 暫定値			
（目標値の根拠） 0% （令和9年（令和8年度実績）のつながりなしゼロ） R7年度 【小学校】22% 【中学校】25% R8年度 【小学校】0% 【中学校】0% （参考指標）※（参）と表記 【中学校】毎年、各校1人ずつ減少する 【小学校】毎年、3分の1の学校（15校）1人ずつ減少する		目標値 [B] (%)	— （参）小：37.24 中：47.35	小：22 中：25			小：0 中：0
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ ^① ならC=A÷B ※ ^② ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	— （参）小：100.78 中：120.53	小：121.05 中：100.00			
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）							
これまでの点検評価員等からの主な意見							
・令和3年度においては、大阪府下では不登校児童数は前年度から横ばいであるが、枚方市は増加傾向にあり課題と考える。原因分析を行ったうえで、例えば地域の力を活用して、問題解決につなげる実践などを研究していただきたい。（R4点検評価員会議） ・枚方市における不登校の児童・生徒の数は、年々増加している。児童・生徒が安心して過ごすことのできる居場所づくりを推進するとともに、不登校になってしまった児童・生徒が社会に取り残されることがないように、地域や関係機関との連携も含め、児童・生徒が常にどこかとつながっている状況をつくっていただきたい。（R5・R6点検評価員会議） ・不登校児童・生徒数が全国的に増加傾向にある中、枚方市立小・中学校における増加率や新規発生件数の鈍化はこれまでの取り組みの成果であり、評価できる。（R7点検評価員会議）							
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度		
	市長公約	令和5年所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針					
	実行計画	第3期実行計画 16_06不登校対策の強化			R7からR8の達成度の推移		
	関連計画	—					

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進等、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取り組みが必要です。

学校施設のバリアフリー化については、「学校施設のエレベーター設置等に関する方針」に基づき、各校へのエレベーター整備を進めます。^①また、令和6年度末に策定する「枚方市学校整備計画（第2期実施計画）」に基づき、学校施設の長寿命化の推進やトータルコストの縮減を図るため、計画的な保全改修に取り組むとともに、施設の省エネルギー化を推進するため、教室等の空調更新に加えて、照明設備のLED化によるZEB化に取り組むなど、良好な学習環境の整備を進めます。^①

空調設備については、新たに学校体育館に整備した空調設備の効率的な維持管理を行うとともに、教室等の空調設備の更新等に向けて、より効果的・効率的な維持管理・更新に取り組めます。^②

学校規模等適正化に関しては、公共施設全体の適正配置のあり方を示す公共施設マネジメント推進計画の改訂等と整合を図りながら検討を行います。さらに、現状の学校施設の有効活用についても検討を行います。^③引き続き、ICTを効果的に活用したわかりやすく深まる授業や、個に応じた家庭学習の充実を実現するため、1人1台端末や周辺機器等の整備・更新に取り組めます。^④教育委員会と学校とが、今まで以上に一体となって学校運営を進めていくため、ICT等を活用したより効率的な情報共有や連絡体制の確立をめざします。

また、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し情報の一元管理や通知表や指導要録等の事務処理を軽減するとともに、今後より効果的・効率的な学校運営に向けた業務の見直しや、教職員の健康保持等、勤務環境の整備に取り組めます。また、個人情報等を含むデータをサーバにより管理し、枚方市立学校情報セキュリティポリシーに基づいた運用を徹底することで、データの機密性、完全性、可用性を担保し、学校内の情報セキュリティのさらなる向上を図ります。^⑤

衛生面に配慮した安全で安心な給食を安定的に提供する^⑥ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な整備に向けた検討を進めます。

主要事業の状況

8-①	学校整備・保全事業	担当課	施設計画課・施設整備課・施設管理課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	2,697,093 (内R7から繰越1,918,684)
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を行う。 ・「学校施設のエレベーター整備等に関する方針」に基づき、3校の実施設計と9校の工事を進める。 ・直営作業による小中学校のグラウンド改修を行う。 ・「枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、学校施設のZEB化の達成に向け、CO2削減効果の高い照明設備のLED化を行う。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 枚方市学校整備計画に基づき全小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明機器に更新した割合		実績値 [A] (%)	64	68.8		
（目標値の根拠） 枚方市学校整備計画に基づき全小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明機器に更新する割合		目標値 [B] (%)	64	68.8	83.8	
（めざすべき方向）		達成度 [C] (%) ※ $\uparrow$ なら $C=A \div B$ ※ $\downarrow$ なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・学校トイレのドライ化と洋式化、及び多目的バリアフリートイレの整備を計画的に推進している。（R4点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_07教育環境の充実			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	枚方市学校整備計画、枚方市地球温暖化対策実行計画				

8-②	学校空調設備整備・維持管理事業	担当課	施設計画課 施設整備課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	2,474,019 (内R7から繰越2,307,580)
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・小中学校の教室等の空調設備の点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。 ・小中学校体育館63棟の点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。 ・令和7年度から令和9年度に教室等を対象に約1800室の空調設備を更新する。 ・教室等の空調設備更新において令和7年度に更新対象となる空調設備の維持管理については、更新する事業者にて実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 枚方市立小中学校教室等空調設備更新DBO事業による空調設備更新室数に対しての実施室数の割合 （参考指標） 空調設備の維持管理室数に対しての実施室数		実績値 [A] %	— (参)2,517室	15.0%		
（目標値の根拠） 枚方市立小中学校教室等空調設備更新DBO事業による空調設備更新室数に対しての実施室数の割合 （参考指標） 小中学校における空調設備の維持管理室数		目標値 [B] %	— (参)2,517室	15.0%	52.8%	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [◇] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・学校体育館を含めた空調整備が計画的に進められている。ともに、時代の変化に沿った先進的な取り組みであると評価できる。 (R4点検評価員会議)						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_07教育環境の充実			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	枚方市学校整備計画				

8-③	学校規模等適正化事業	担当課	新しい学校推進課 施設整備課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	706,503 (内R7から繰越393,386)
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・「枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）」に基づき、小規模校及び大規模校並びに過密校について、学校統合や通学区域の変更、増築等により、学校規模等の適正化に向けた取り組みを進める。 ・令和8年度については、特に小規模校等の課題解決に向けた学校規模等適正化に係る取り組みの方向性について検討を進める。 ・「枚方市学校規模等適正化基本方針【改訂版】」に基づき、旧高陵小学校と旧中宮北小学校を統合して誕生した禁野小学校の新校舎整備事業については、「設計施工一括デザインビルド（DB）方式」で実施しており、令和6年7月より着手している新校舎建設工事は、令和8年7月に完了予定。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） ①教室の転用や間仕切りによる教室の分け等、過密校等における必要な教室数の確保に向けて取り組んだ学校数 ②学校規模適正化に係る視察、勉強会、庁内会議等の開催数		実績値 [A] (校)	①2 ②0	①1 ②0		
（目標値の根拠） ①教室の転用や間仕切りによる教室の分け等、過密校等における必要な教室数の確保に向けて取り組んだ学校数 ②学校規模適正化に係る視察、勉強会、庁内会議等の開催数		目標値 [B] (校)	①1 ②0	①1 ②0		
（めざすべき方向）		達成度 [C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	①200.00 ②100.00	①100.00 ②100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・これまで、学校統合のほか大規模校での校舎の増築や過密校対策として通学区域変更など、学校規模適正化の取り組みを適宜行ってこられたことは評価できる。今後は長期的な人口減少も見据え、学校のあり方だけではなく、地域づくりやまちづくりといった視点をもった公共施設全体の運用と整合を図りながら検討することとであり、このことが将来にわたる良好な教育環境の維持につながることを期待する。（R6点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16-07教育環境の充実			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				
※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。						
8-④	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方策1に記載			担当課	教育研修課	

8-⑤	校務の情報化推進事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	26,031
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・児童・生徒の情報管理や帳票作成を行う校務支援システム（平成27年度導入・令和3年度更新）により、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。 ・全中学校に採点支援システムを導入して、教職員の採点業務（採点、集計、転記）の効率化を図るとともに、分析機能を活用して生徒の弱点を把握し、個別最適な学びの充実につなげる。また、採点から成績処理の負担を軽減する。 ・校務での生成AIの活用について実証を行い市内小中学校間で好事例を情報共有し事務の効率化を図り校務の負担軽減につなげる。						
指標		R6年度		R7年度		R8年度
（実績値の内容） 教員アンケートにおける「校務支援システム・採点支援システムの活用により、児童生徒に向き合う時間が増えた」に対して肯定的回答の割合 （参考指標）※（参考）と表記 教員アンケートにおける「出席簿の学期ごとと年度末集計事務に要した合計時間」の1日の平均時間（分）		実績値 [A] （%）	— （参）56.4分	60.67 （参）48.2分		
（目標値の根拠） 教員アンケートにおける「校務支援システム・採点支援システムの活用により、児童生徒に向き合う時間が増えた」に対して肯定的回答の割合80% （参考指標） 90分以内（学校の放課後時間内（15:30～17:00））に完了することをめざすもの		目標値 [B] （%）	— （参）90分	80 （参）90分	80	
（めざすべき方向）						

基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題等、様々な課題に関する学びと、その成果を生かす機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組めます。^{①②}

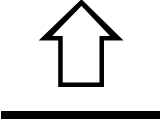
図書館においては、令和3年に策定した「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」に基づき、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、市民ニーズに応じた資料や情報を提供する基本的な役割を果たすことで、誰もが読書に親しむことができる環境を整え、市民の学びを支えます。^{③④⑤⑥⑦⑧}また、いつでもどこでも図書に親しむことができる市民サービスとして開始した「電子図書館」についても、さらなる利用促進に努めます。^⑨

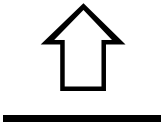
また、ICタグシステムの導入拡大や予約図書受取ロッカーの配置により、待たない貸出手続きや24時間いつでも借りられる環境を整え、誰もが利用しやすい快適な図書館サービスの提供を広げていきます。^⑦

読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館への支援・連携強化、学校司書の育成・支援など、学校教育と連携を図ることにより、生涯にわたる読書習慣を養えるよう子どもの読書活動を推進します。^⑩

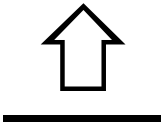
主要事業の状況

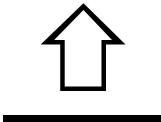
9-①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	6,146
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
「人生100年時代」においては、生涯自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の問題解決のための活動につなげていくことの必要性が高まっていく中、社会教育を推進するため、以下の事業を行う。 社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。 家庭教育支援事業…家庭教育を支援する各種事業を行う。参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する“気づき”を促す講座や、親と子が協力し、一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりする機会を提供することで、親子のコミュニケーションを促進する講座等を開催する。 社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座や、日常生活において、日本語の読み書きや会話に困っている方を対象に、日本語の学習の場を提供することを目的とした、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」及び朝鮮語の学習を通じて本市ともゆかりのある朝鮮半島の文化、歴史等を学ぶ朝鮮語教室を実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 社会教育活動推進事業への延べ参加者数		実績値 [A] (人)	3,543	4,129		
（目標値の根拠） 「よみかき」については登録者数×13回（目標通室回数）、「朝鮮語教室」については募集人数の80%×年間実施回数の80%、その他の事業については募集人数の80%		目標値 [B] (人)	4,075	4,189	年度末算定予定	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	86.94	98.57		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・市民のニーズを踏まえた講座を実施されており、参加者数が増加していることは評価できる。今後は、より多くの市民が講座に参加できるよう、オンライン講座の開催についても検討いただきたい。（R5点検評価員会議） ・大学が行う社会貢献活動とも連携を図るなど、今後も魅力ある講座の検討や講師の確保を期待したい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度			
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画11_03多文化共生社会の形成の支援	R7からR8の達成度の推移			
	関連計画	-				

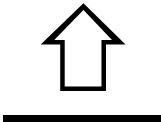
9-②	生涯学習事業	担当課	文化生涯学習課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	22,254
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
●生涯学習事業の推進 他部署との連携事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。 ●生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター（9施設）の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。 ●枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 生涯学習施策推進アンケートによる満足度の割合 （「満足」「概ね満足」「普通」と回答した設問数／総設問数） ※総設問数＝アンケート回答者数×設問数		実績値 [A] (%)	87.62 (5,126/5,850)	88.74 (7,188/8,100)		
（目標値の根拠） 総設問数に対して「満足」「概ね満足」「普通」と回答した設問数が80%		目標値 [B] (%)	80.00	80.00	80.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ $\hat{C}$ なら $C=A \div B$ ※ $\hat{C}$ なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	109.53	110.93		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・満足度が半数にも満たない状況を踏まえ、現状に甘んじることなく好事例を参考とするなど、市民ニーズ・満足度の向上を意識した事業展開に努められたい。（R6点検評価員会議） ・大学が行う社会貢献活動とも連携を図るなど、今後も魅力ある講座の検討や講師の確保を期待したい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度			
	市長公約	令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画17_01生涯学習の推進	R7からR8の達成度の推移			
	関連計画	－				

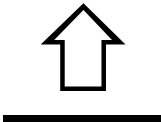
9-③	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	83,576
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
基本的な蔵書構成を維持しながら市民の多様なニーズに応えるため、雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広くバランスを意識し、あらゆる分野にわたり、正確で新しい情報を提供できるよう計画的に資料を購入する。また、貸出頻度の高い児童書のロングセラーや、情報が古く更新が必要な図書の買い替えを積極的に進め、蔵書のリフレッシュを昨年度に引き続き行う。なお、選書に際しては、より効果的な利用につながるよう、ＩＣタグシステム導入後の蔵書分類ごとの利用状況をエビデンスにするなど留意する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) 図書館の蔵書構成に関する利用者満足度		実績値 [A] (%)	85.90	84.10		
(目標値の根拠) 図書館の蔵書構成に関する利用者満足度 90%		目標値 [B] (%)	90.00	90.00	90.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※ ^① なら C=A÷B ※ ^② なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	95.44	93.44		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	令和7年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画17_02図書館運営・機能の充実			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-④	図書館等巡回業務	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	17,121
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を業務委託により実施する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) 分館・分室の巡回日数		実績値 [A] (件)	499	448		
(目標値の根拠) 年度当初に予定していた年間巡回日数		目標値 [B] (件)	499	448	452	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-				
	関連計画	-			R7からR8の 達成度の推移	

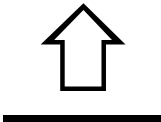
9-⑤	中央図書館管理運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	71,898
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・図書館政策の企画・立案・周知等を行う。 ・幅広い分野と難易度の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫における貸出を支援するとともに、他自治体の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの拠点館として各種図書館サービスを行う。 ・ICタグシステム導入を機に、読書相談業務や蔵書管理業務などの充実を図る。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 中央図書館の利用者満足度 （参考指標）中央図書館の貸出冊数		実績値 [A] (%)	93.67 (参) 703,765冊	90.64 (参) 766,364冊		
（目標値の根拠） 中央図書館の利用者満足度90% （参考指標）直近3か年の平均値		目標値 [B] (%)	90 (参) 742,083冊	90 (参) 721,806冊	90 (参) 730,894冊	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※▽ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	104.08 (参) 94.84	100.71 (参) 106.17		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画17_02図書館運営・機能の充実			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-⑥	図書館分館管理運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	442,117
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出や予約の受付、レファレンスサービス、各種行事等を行う。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 図書館分館利用者の満足度 （参考指標）全分館の貸出冊数		実績値 [A] (%)	90.59 (参)2,972,430冊	88.64 (参)3,286,453冊		
（目標値の根拠） 図書館分館利用者の満足度90% （参考指標）直近3か年の平均値		目標値 [B] (%)	90 (参)2,598,502冊	90 (参)2,727,105冊		
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [▽] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.66 (参)114.39	98.49 (参)120.51		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・来年度にオープンする市駅前図書館については、指定管理者が運営される。蔵書規模は大きくないが、市駅前ということで、市民の皆さんはそのオープンをたいへん楽しみにしておられる。司書の皆さんが専門的なノウハウを活かして選定した魅力的な蔵書に加え、I Cタグシステムや予約図書受取ロッカーをはじめとした、これまで本市では提供してこなかった新たなサービスの提供と、指定管理者による専門的なサービスにより、枚方市の顔である枚方市駅直結の図書館にふさわしい、魅力ある図書館にしていだきたいと要望する。（議会）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度市政運営方針、令和7年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画17_02図書館運営・機能の充実			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次ランドビジョン				

9-⑦	図書館オンラインシステム 運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 110,296	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。 また、令和8年末にはすべての書籍へのＩＣタグの貼付が完了し、中央図書館及び分館において、自動貸出機による貸し出しがすべての書籍において可能になる。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 予約受付件数 （WEB予約を含めた予約受付件数）		実績値〔A〕 （件）	849,863	910,125		
（目標値の根拠） 直近3か年の平均値		目標値〔B〕 （件）	839,208	832,854	862,820	
（めざすべき方向） 		達成度〔C〕 （％） ※△ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	101.27	109.28		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・市立図書館へのICタグシステムは、効率化につながるが、貸出データなどを蔵書購入の際にも活用していくのか、蔵書計画との整合性は？（議会）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度市政運営方針、令和7年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画17_02図書館運営・機能の充実			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	－				

9-⑧	障害者利用促進事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	927
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・障害のある利用者等の読書環境を整備し、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸し出し、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者等の養成を行う。 ・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）に基づき、視覚障害者等に対して、拡大読書機、ルーペ等の拡大補助具、点字ディスプレイ、デジタイゼー等の機器について、個々の状態に応じた活用に留意し、支援を行うとともに、様々な読書手段を紹介する。 ・読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 障害のある利用者登録数		実績値 [A] (人)	121	122		
（目標値の根拠） 前年度以上		目標値 [B] (人)	123	121	122	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ ^① なら C=A÷B ※ ^② なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	98.37	100.83		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画17_02図書館運営・機能の充実			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-⑨	電子図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 1,254 決算額
事業概要（令和8年度の取り組み内容）					
ICTの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして、令和3年7月より、ウェブ上で電子書籍が読めるサービスとして「ひらかた電子図書館」を導入している。電子書籍には、文字の大きさを変更できる機能や、音声読み上げ機能などがあり、紙の本が読みづらい人でも読書が楽しむことができる。今後も、利用者満足度を分析しながらサービス向上に努める。					
指標		R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) ひらかた電子図書館に関する利用者満足度 (Webアンケート)	実績値 [A] (%)	82.50	81.90		
(目標値の根拠) ひらかた電子図書館に関する利用者満足度 80%	目標値 [B] (%)	80.00	80.00	80.00	
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ $\hat{\cup}$ なら $C=A \div B$ ※ $\hat{\cup}$ なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	103.13	102.38		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
- 電子書籍貸出冊数が、さまざまな工夫により、目標値と比べて実績値がかなり大きくなったことは評価できる。更なる貸出冊数の増加に向けた取組みを進めていただきたい。（R4点検評価員会議） - タブレット端末による「ひらかた電子図書館」利用が可能となり、さらに「読み放題パック」を導入して以降に、小学生の電子図書館利用が多くなったということがわかった。今後も、安定的に財源を確保しながら、電子図書館全体はもちろん、特に読み放題パック等児童書を充実させていただき、子どもの利用をさらに拡大するよう要望する。（議会）					
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針			
	実行計画	第3期実行計画17_02図書館運営・機能の充実		R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-			

9-⑩	学校図書館支援事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 13,700	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、教育指導課の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援及び学校図書館システムの管理・技術的支援を行うとともに、学校図書館の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援を行う。 ・児童生徒の読書習慣の確立や情報活用力の育成をめざし、市立小中学校に配置する学校司書と連携しながら、学校図書館機能の向上及び充実を図る。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 市内小中学校への団体貸出件数		実績値 [A] (件)	544	655		
（目標値の根拠） 直近3か年の平均値		目標値 [B] (件)	531	548	586	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	102.45	119.53		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・子どもたちの1人1台端末への電子図書館のリンクアイコンの追加などは、学校と図書館が連携した子どもたちの読書活動推進の取り組みとして、他市にも誇れるものとする。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画16_02 子どもの確かな学力の定着を図る			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				
9-⑪	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載			担当課	教育指導課	

基本方策10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実

「人生100年時代」においては、一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、生涯学び、活躍していくためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。さらに、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

こうしたことから、子どもの時から様々な体験活動や、子どもたちが安全で自由に過ごすことができる空間を提供するとともに、地域等とも連携しながら、生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供していくことが求められています。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動等、様々な体験ができる機会を確保します。^{①②}また、子どもたちの夢や将来の可能性を広げるため、地域の特色や活力を生かしながら、3季休業期などに児童の参加・体験型のプログラムを提供していきます。生涯学習市民センターや総合文化芸術センターなどを活用し、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます。^③

また、文化財等の適切な保存を進めるとともに、特別史跡百済寺跡等の貴重な歴史文化遺産について、多くの市民の理解と共感を得て、文化財に関する情報発信を行い、郷土愛が育まれ継承されるよう取り組みを進めます。^{④⑤⑥}

また、各種スポーツ・レクリエーション活動については、プロスポーツに触れる機会の提供や、スポーツ環境の整備に取り組むとともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます。^{⑦⑧}

令和7年3月に策定する「児童の放課後を豊かにする行動計画」に基づき、子どもの成長に必要な要素として、自由で自主的な子どもの「時間」、安全に自由に遊べる「空間」、異年齢の集団を含む「仲間」の「3間（さんま）」を確保・充実し、遊びや豊かな体験等を通じて、家庭や学校以外の第3の児童の居場所として、全市立小学校で実施している留守家庭児童会室と放課後オープンスクエアを一体とした総合型放課後事業の取り組みを一層強化します。また、小学校入学以降も保護者が安心して就労できる環境の整備を進めるため、児童と保護者のニーズを汲み取った施策についても充実を図ります。^{⑨⑩}

主要事業の状況

10-①	文化財活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
10-②	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課

10-③	文化芸術事業	担当課	文化生涯学習課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 31,644	
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
総合文化芸術センターなどを活用し、文化芸術に触れるきっかけづくりとなるような魅力的な事業を数多く展開していくことで、市民の文化芸術への興味や関心を育て、文化芸術の裾野を広げることを重点施策としている。特に文化芸術の裾野を広げるための子ども対象の事業については、連携協定を締結している文化芸術団体や劇作家・演出家で芸術文化観光専門職大学学長の平田オリザ氏、枚方ゆかりの若手アーティスト、市教育委員会と連携協力して、子どもたちが感受性の豊かな時期に、等しく文化芸術を体験できる機会や、興味や関心のある子どもたちを育成する事業を総合的に行っていく。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 文化事業の参加者へのアンケートによる満足度の割合 （「満足」「概ね満足」「普通」と回答したアンケート回答者数/アンケート回答者数） （参考指標）令和6年度については、各事業のアンケート回答者数の約1割を抜粋したもの※（参）と表記		実績値 [A] （%）	— （参） 96.6 (997/1,032)	95.3 (6,039/6,335)		
（目標値の根拠） 総設問数に対して「満足」「概ね満足」「普通」と回答したアンケート回答者数が80% （参考指標）80%		目標値 [B] （%）	— （参） 80.00	80.00	80.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※△なら C=A÷B ※□なら C={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	— （参） 120.75	119.13		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・小学校に出向いての生の音楽を鑑賞する機会や、中学1年生がオーケストラ演奏を鑑賞する機会を創出するなど、児童生徒の完成を高める様々な活動が行われており、とても素晴らしい事業だと考える。（R6点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画17_03文化芸術活動の推進			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	枚方市文化芸術振興計画【改訂版】				

10-④	文化財保護管理事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	31,666
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹠跏東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。 ・特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施。 ・楠葉台場跡は、幕末の砲台場を保護している史跡であり、その維持のため草刈りや、清掃点検等保全管理する。 ・出土した遺跡の劣化を防止し、適切な保存を図るため、保存科学処理を行う。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合		実績値 [A] (%)	100.00	100.00		
（目標値の根拠） 当該年度の国庫補助金の費消率		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画19_01歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

10-⑤	市指定文化財補助事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	340
事業概要（令和８年度の取り組み内容）						
建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円の枚方市文化財保存事業補助金を交付し、市指定文化財の保存管理を支援する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数		実績値 [A] (件)	14	14		
(目標値の根拠) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数		目標値 [B] (件)	14	14	14	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※△なら C=A÷B ※▽なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00		
令和８年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

10-⑥	市史編さん年報発行事務	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	1,061
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） レファレンス件数（枚方の歴史や史料に関する質問・照会のほか資料の閲覧・複写及び貸出等の利用も含めた件数）		実績値 [A] (件)	318	296		
（目標値の根拠） 第3期実行計画における施策指標		目標値 [B] (件)	250	260	270	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△なら C=A÷B ※◇なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	127.2	113.85		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画19_01歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

10-⑦	各種スポーツ大会等開催事業	担当課	スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	40,860
					決算額	
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
・各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、実施。 ・市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ・ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託して実施。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
(実績値の内容) 各種大会等参加者数		実績値 [A] (人)	17,040	16,878		
(目標値の根拠) 実行計画と同様に、R1実績22,560人を目標 して段階的に設置した数値		目標値 [B] (人)	21,000	21,500	22,000	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※△なら C=A÷B ※◇なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	81.14	78.50		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画17_04スポーツ活動の推進			R7からR8の 達成度の推移	
	関連計画	-				

10-⑧	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	10
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） スポーツ施設利用者数		実績値 [A] (人)	959, 501	5月末集計予定		
（目標値の根拠） 実行計画同様に、R1実績1,061,879人を目標して段階的に設置した数値		目標値 [B] (人)	990, 000	1, 010, 000	1, 030, 000	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※△なら C=A÷B ※◇なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	96. 92	5月末集計予定		
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第3期実行計画17_04スポーツ活動の推進			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	-				

10-⑨	総合型放課後事業	担当課	放課後子ども課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	1,808,287
事業概要（令和8年度の取り組み内容）						
子どもたちの「時間」「空間」「仲間」のいわゆる3間を充実させ、すべての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様で自主的な活動に参加できる環境として「放課後オープンスクエア」を令和5年4月より全校（44校）で実施し、「留守家庭児童会室」と一体的な運営を核とし、「枚方子どもいきいき広場」と連携・協働しながら、「総合型放課後事業」として民間活力を活用しながら安定的な運営に取り組む。 「総合型放課後事業によるすべての児童の放課後の居場所づくりの推進」と「総合型放課後事業による子育てしやすい環境の整備」を2つの柱に掲げ、放課後の課題解決に向けた具体的な施策や目標を示した「児童の放課後を豊かにする行動計画」（令和7年3月策定）に基づき、放課後児童対策の取り組みを計画的に進める。留守家庭児童会室の土曜日開室については、全室で利用者の希望に応じた開室の試行実施を継続し、利用状況や運営体制の検証結果を踏まえた制度設計を行うほか、三季休業期の昼食サービスについても、引き続き全小学校で試行実施を継続する。また、この仕組みを活用して欠食リスクを抱える児童に対して昼食を提供し、安心できる居場所の中で児童の様子を見守り、必要な支援につなげる。さらに、留守家庭児童会室の施設の老朽化や利用状況等を踏まえ策定した「留守家庭児童会室個別施設計画」（令和8年3月策定）に基づき、建替えや増築が必要な施設について、整備手法等の可能性調査を実施する。加えて、朝の児童の居場所の確保については、子どもの生活リズムや学校運営への影響、安全管理体制の確保等の課題を整理し、先行自治体の事例を踏まえ、国の支援制度の活用の可能性やNPO法人等の参画も視野に入れ、持続可能な仕組みの構築を検討する。						
指標		R6年度		R7年度		R8年度
（実績値の内容） 留守家庭児童会室入室の児童・保護者、放課後オープンスクエアに参加した児童・保護者の満足度 （算出式：アンケートにて「満足」、「やや満足度」と回答した人数／アンケート回答者数×100）		実績値 [A] （%）		79.91		93.60
（目標値の根拠） 留守家庭児童会室入室児童・保護者、及び放課後オープンスクエア利用児童・保護者の満足度 85%以上		目標値 [B] （%）		85.00		90.00
（めざすべき方向） 		達成度 [C] （%） ※ [△] なら C=A÷B ※ [□] なら C={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）		94.01		110.12
令和8年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・これまで期限内に入室申込みのあった全ての児童を受入れるという方針のもと、臨時定員等を設けて受け入れされてきたということであるが、今後も放課後オープンスクエアの拡充、職員体制や施設の整備、余裕教室の確保などを通じて、通年で待機児童0をめざして取り組んでいただきたい。（R5点検評価員会議） ・令和5年度の全校実施から実績値、登録児童数とも増えている。今後も、留守家庭児童会室の土曜開室、三季休業期昼食サービスの全校実施に向けた試行など保護者のニーズをとらえた取り組みと併せて、事業の充実に努めていただきたい。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度・8年度市政運営方針				
	実行計画	第3期実行計画15_01子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	児童の放課後を豊かにする行動計画				

10-⑩	枚方子どもいきいき広場補助事業	担当課	放課後子ども課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	31,185
事業概要（令和８年度の取り組み内容）						
これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内44小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を活かしたプログラムを児童健全育成事業として実施する。地域団体やNPO等に対し支援・助成を行う。						
指標			R6年度	R7年度	R8年度	
（実績値の内容） 参加した子どもにおける事業の満足度 （算出式：「参加してとてもたのしかった」、「まあまあたのしかった」と回答した数／アンケート回答者数×100）		実績値 [A] (%)	94.18	95.39		
（目標値の根拠） 参加した子どもにおける事業の満足度 85%以上		目標値 [B] (%)	85.00	85.00	95.00	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ $\uparrow$ なら $C=A \div B$ ※ $\downarrow$ なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	110.80	112.22		
令和８年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R7からR8の達成度の推移	
	関連計画	児童の放課後を豊かにする行動計画				